

令和 3年10月分 リサーチユニット活動記録

RU推進コミッティー：杉野，松本，小西，田中

	活動日時	参加ユニット(6 units)	活動場所	活動内容 Keynote,and Workshop
1	10月6日(水)	鄭：3名	協働プロジェクト開発室	校長の言葉、各ユニットの研究内容紹介、専攻科長の言葉 参加人数：20名+3(コミッティ)+1(校長)+2(事務系)=26名
		加藤：1名		
		伊丹：3名		
		福見：4名		
		小林：4名		
		香西：2名		
2	10月13日(水)	鄭：1名	協働プロジェクト開発室	鄭ユニット → 県単事業採択（450万）LEDによる遂行栽培の話 福見ユニット → 松浦教員によるドローンの噴霧シミュレーションの話 （農業情報研究論文集に7月採録） 参加人数：12+3+1(校長)=16名
		加藤：1名		
		伊丹：3名		
		福見：3名		
		小林：2名		
		香西：2名		
3	10月20日(水)	鄭：1名	協働プロジェクト開発室	加藤ユニット → 防災科研との共同研究（248万）ハザードマップによる 住宅購入時の行動変容の話 参加人数：13+3+1=16名
		加藤：1名		
		伊丹：3名		
		福見：4名		
		小林：2名		
		香西：2名		
4	10月27日(水)	鄭：1名	協働プロジェクト開発室	伊丹ユニット → 魚群行動を貯槽とするリザーバーコンピューティングの話 参加人数：12+3=14名
		加藤：0名		
		伊丹：3名+学生1名		
		福見：2名		
		小林：2名		
		香西：2名		

令和 3年11月分 リサーチユニット活動記録

RU推進コミッティー：杉野, 松本, 小西, 田中

	活動日時	参加ユニット(6 units)	活動場所	活動内容 Keynote,and Workshop
1	11月10日 (水)	鄭：1名	協働プロジェクト開発室	小林ユニット → カオス結合格子による画像の連想記憶モデルの話 参加人数：8+3=11名
		加藤：0名		
		伊丹：3名		
		福見：1名		
		小林：2名		
		香西：1名		
2	11月17日 (水)	鄭：1名	協働プロジェクト開発室	香西ユニット → フェムト秒レーザーによる高精度構造物の加工システムの話 CDIO向け論文 → 電気技術イノベーション実習とレーザー技術の抱き合わせ 参加人数：9+4=13名
		加藤：0名		
		伊丹：3名		
		福見：1名		
		小林：2名		
		香西：2名		

令和 3年12月分 リサーチユニット活動記録 RU推進コミッティー：杉野，松本，小西，田中

活動日時	参加ユニット(6 units)	活動場所	活動内容 Keynote, and Workshop
1 12月1日(水)	鄭：2名	協働プロジェクト開発室	論文作成ワークショップ 1st → 小西先生からグラフや表を論文テンプレに張り込んで論文構成を考えて取り掛かると筆が進むとのアドバイス、校長から激励 吉村教員 → 土木学会に投稿予定 小林教員 → 実用例がなくて不採択になった事例の紹介 鄭教員 → 専門は応用化学だが、外部資金テーマは環境へシフト必要 参加人数：12+3+1(校長)+1(他教員)=17名
	加藤：1名		
	伊丹：2名		
	福見：1名		
	小林：3名		
	香西：2名		
2 12月8日(水)	鄭：1名	協働プロジェクト開発室	論文作成ワークショップ 2st → 小西先生から「グラフ・表→結果→議論・序論→原理・手法」の順で論文作成をするとのアドバイス 福見教員 → 農業情報学会、日本水産工学会、水産海洋学会に投稿予定→藻場の解析は複雑系ベースのエージェントモデルで新規性を確保 内野教員 → 回路の分岐解析をDC/ACコンバーター実験へ適用事例の紹介 参加人数：10+3+1(他教員)=14名
	加藤：1名		
	伊丹：3名		
	福見：1名		
	小林：2名		
	香西：1名		
3 12月15日(水)	鄭：0名	協働プロジェクト開発室	論文作成ワークショップ 3rd → 小西先生から一流誌投稿の勧め (インパクトファクターや査読スピードの速さなどにメリット在り) 校長 → 欧文誌への掲載について推奨 副校長 → ハワイ学会 (RISP非線形回路・通信/信号処理) への参加要請 内野教員 → 回路分岐解析のDC/ACコンバーター実用へ応用事例の紹介 参加人数：8+4=14名
	加藤：1名		
	伊丹：2名		
	福見：1名		
	小林：3名		
	香西：1名		

令和 4年 1月分 リサーチユニット活動記録

RU推進コミッティー：杉野，松本，小西，田中

	活動日時	参加ユニット(6 units)	活動場所	活動内容 Keynote,and Workshop
1	1月12日(水)	鄭：1名 加藤：1名 伊丹：2名 福見：0名 小林：1名 香西：1名	協働プロジェクト開発室	小林教員 → 健康情報のシステム開発でジャーナル誌へ投稿の準備 香西教員 → 700万の装置(デジタルマイクロスコープ)の設置と運用について(株)LaS土内氏と協議中 加藤教員 → 感染症避難所の研究の話、土木学会と地域活性化化学会に投稿2編 伊丹教員 → 4年前の魚群行動の実験データを新たな視点で分析予定 参加人数：6+1(杉野) = 7名
2	1月19日(水)	鄭：1名 加藤：1名 伊丹：1名 福見：1名 小林：1名 香西：1名	協働プロジェクト開発室	今後の研究計画のシェア 小林教員 → カオスの研究、土日に専攻科生とリモートで研究継続 福見教員 → 農業系・水産系それぞれ論文化、農研機構外部資金応募 (ドローン散布) 2/14 吉村教員 → 東京ガスとの共同研究継続 実験結果のシミュレーションを行う 松本教員 → 専攻生回路作成 インターンシップ 香西教員 → 教育関係論文 CDIO論文 LEDフォーラム アクア化学からの受託研究 小西教員 → 科研分担研究 (歯科用セメント) の論文化 全体 → データ整理法 論文クオリティのグラフ化手法の共有WSをしてはどうかとの提案 参加人数：6+3(松本・吉村・小西) = 9名
3	1月26日(水)	鄭：0名 加藤：0名 伊丹：2名 福見：0名 小林：0名 香西：0名	協働プロジェクト開発室	伊丹教員 → 査読論文に向けた実験の整理について 杉野教員 → リサーチユニットによる研究活性化の議論 参加人数：1+1(杉野) = 2名

令和 4年 2月分 リサーチユニット活動記録

RU推進コミッティー：杉野, 松本, 小西, 田中

	活動日時	参加ユニット(6 units)	活動場所	活動内容 Keynote,and Workshop
1	2月9日(水)	鄭：0名	協働プロジェクト開発室	福田教員 → バックパックPCをVRの制御装置とした人の群集行動、蟻の群集行動をトラックする極小マーカーについて、発災後の道路をトラッキングするプログラミング可能なドローンについて 福見教員 → 科研費と農水省知の集積の予算について 小林教員 → 医療メーカーとの食事療法に関するグラム計測システムについて 参加人数：6+2(杉野・小西) = 8名
		加藤：0名		
		伊丹：3名		
		福見：1名		
		小林：2名		
		香西：0名		
2	2月16日(水)	鄭：0名	協働プロジェクト開発室	福田教員 → 蟻の群集行動を計測自動制御の国際会議で発表予定、フェロモンコミュニケーションのリアル実験の環境設定について来年度の前半が重要 伊丹教員 → 360度カメラによる魚群行動の要素技術の可能性について 杉野リサーチユニット長 → リザーバーコンピューティングの実験結果を国際会議で発表する検討 香西教員 → ミスト実験の投稿準備、レーザー加工の数値シミュレーションを小松教授と連携、レーザー加工の構造的発色を拡張する技術について、溶液中の微粒子計測技術の応用 参加人数：4+2(杉野・小西) = 6名
		加藤：0名		
		伊丹：3名		
		福見：0名		
		小林：0名		
		香西：1名		

令和 4年 3月分 リサーチユニット活動記録 RU推進コミティー：杉野, 松本, 小西, 田中

	活動日時	参加ユニット(6 units)	活動場所	活動内容 Keynote, and Workshop
1	3月9日(水)	鄭：0名 加藤：1名 伊丹：2名 福見：0名 小林：0名 香西：1名	協働プロジェクト開発室	加藤教員 → 東京大学羽藤研究室との防災研究、社会基盤がベースとした町の計画、東大院生と本校学生のリエゾン 伊丹教員 → 撮像システムの改良完了、情報コースの学生と機械コースの学生が共同してデータ処理と解析を予定 杉野ユニット長 → 自然エネルギー原理の生物系・人間系の応用について 香西教員 → 3/25に変換装置の設置工事、分光系は元教員と共同研究、アクア化学との微粒子研究全体 → 協働プロジェクト開発室にリサーチユニットの看板やポスター、サインージュシステムなどの設置意向 参加人数：4+2(杉野・校長) = 6名
2	3月16日(水)	鄭：0名 加藤：1名 伊丹：3名 福見：1名 小林：0名 香西：0名	協働プロジェクト開発室	加藤教員 → 東京大学羽藤研究室との防災研究について国交省・阿南市と緊密に進める 伊丹教員 → 研究の進捗と外部メンターとのオンライン会議について 福田教員 → アリのフェロモンコミュニケーションとVRによる人の群集行動実験、ディープラーニング技術の活用について 福見教員 → 徳島水産研での実験報告、水産工学会での論文発表計画 全体 → 次年度のリサーチユニットをどのように活性化すべきかの議論 参加人数：5+2(杉野・小西) = 7名
3	3月23日(水)	鄭：0名 加藤：0名 伊丹：3名 福見：1名 小林：0名 香西：1名	協働プロジェクト開発室	伊丹教員 → 外部メンターとのメンタリングに向けた報告書作成 福田教員 → 蟻の行動実験のアイデアについて 福見教員 → 水産工学会年次大会での発表と計測自動制御学会国際会議での発表計画 全体 → 次年度のリサーチユニットをどのように活性化すべきかの議論 参加人数：5+2(杉野・小西) = 7名
4	3月23日(水)	鄭：1名 加藤：0名 伊丹：2名 福見：1名 小林：0名 香西：1名	協働プロジェクト開発室	伊丹教員 → メンタリングの報告書完成について 杉野教員 → 群行動に関する新しい数理モデルについて 香西教員 → LaSの土内氏に報告書を送る、レーザー加工装置の整備完了 釜野教員 → 蜘蛛の網膜信号に関する論文を電気学会へ投稿予定 全体 → 研究の進捗はデータ取得と分析等具体的な中身を報告すべき、論文作成等のワークショップは季節ものとする、ジャーナルへの投稿は毎年チャレンジすべきもの 参加人数：4+2(杉野・小西) = 6名